

# 生産状況報告書【記載例】

造船所

所在地 △▲県○●市□▲町1234-1  
 名称 ○○造船株式会社

1. 生産高 (平成30年4月～平成30年9月)

鋼製の改造船、修繕船の工事についての費用を記入して下さい。

(単位:千円)

生産高	新造船	改造・修繕船	その他の工事	合計
	3,056,780	23,450	67,890	3,148,120

※生産高の欄には、期間中に発生した総製造費用を記載すること。

2. 新造船工程表 (平成30年9月末現在)

鋼製の船舶及び海洋開発設備について、期間中の製造費用を記入。(500G/T以下の船舶についても記入して下さい)

外注を受けた船体ブロック、鉄骨橋梁等の鋼製船舶以外の製造費用を記入して下さい。

船台番号	製造しうる最大船舶 (G/T)	実績												予定						
		平成30年						平成30年						平成31年						
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
1	12,000																			
2	9,900																			
3	499																			

○新造船工程表は、既契約船と未契約船(内定船)を区別するために、**既契約船は実線**、**未契約船(内定船)は点線**で記入して下さい。

○新造船工程表には、次の事項を付記してください。  
 ・起工日、進水日、竣工日 ・国内船、輸出船の別(国名を記入)、船番、船主、用途、総トン数、載貨重量トン数  
 (バージ等、総トン数又は載貨重量トン数が公証されていないものについては、長さ、幅、深さを記入)

※ 新造船工程表は、調査時点前6ヶ月間の実績及び調査時点後1年間の計画を線表とし、船番、船主(外国船の場合はその国籍)、用途、総トン数、載貨重量トン数及び船名を記入すること。  
 なお、工事期間が調査時点以後1年を超える既契約船については、その竣工期まで作成すること。

3. 工事時間数（平成30年9月末現在）

単位に注意して下さい

(単位:千時間)

工事区分	総工数	実績						予												
		平成30年						平成30年			平成31年									
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
新造船工事	既契約船	S-12345	150.00		4.00	10.00	15.00	20.00	20.00	20.00	15.00	15.00	10.00	10.00	10.00	1.00				
		S-12347	110.00			10.00	20.00	20.00	20.00	15.00	10.00	15.00								
		S-12350	30.00					10.00	10.00	10.00										
		S-12351	65.00								10.00	20.00	20.00	10.00	5.00					
	未契約船	S-12348	110.00											15.00	20.00	20.00	20.00	15.00	10.00	10.00
		S-12352	65.00												10.00	20.00	20.00	10.00	5.00	
	小計	530.00	0.00	4.00	20.00	35.00	50.00	50.00	45.00	35.00	50.00	30.00	35.00	35.00	31.00	40.00	35.00	20.00	15.00	0.00
	改造及び修繕工事	20.00	5.00	4.00	5.00	2.00	2.00	2.00												
	その他の工事	14.00	4.00	3.00	4.00	1.00	1.00	1.00												
	直接工数計	564.00	9.00	11.00	29.00	38.00	53.00	53.00	45.00	35.00	50.00	30.00	35.00	35.00	31.00	40.00	35.00	20.00	15.00	0.00
間接工数 (総合原価部門を含む)	34.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00		
合計	598.00	11.00	13.00	31.00	40.00	55.00	55.00	47.00	37.00	52.00	32.00	37.00	37.00	33.00	42.00	37.00	22.00	17.00	0.00	
現有工事消化能力	定時間	32.6						2時間残業												
		32.6						41.9												

工事期間に係わらず総工数を記入

船番を記入

生産高の「その他工事」欄がある場合には必ず記載して下さい。

下記の脚注を参照すること。  
ただし、実情に合わせて計算して差し支えありません。

※ 工事時間数は、生産部門の調査時点前6ヶ月間の実績及び調査時点後1年間の計画を記入すること。  
なお、現有工事消化能力は、1日所定労働時間数7時間、1ヶ月労働日数25日とし、出勤率は社内工にあっては90%、社外工にあっては100%として算出すること。

4. 鋼材搭載重量(平成30年9月末現在)

(単位:トン)

工事区分	総搭載重量	実績									予定								
		平成30年									平成30年			平成31年					
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
新造船工事	S-12345	2,000		135	395	420	505	470	72	2	1								
	S-12347	1,000			220	325	253	150	30	15	7								
	S-12350	50					25	20	5										
	S-12351	220								85	85	42	5	3					
		0																	
	船番を記入	0																	
		0																	
		0																	
	S-12348	1,000											220	325	253	150	30	15	7
	S-12352	220											85	85	42	5	3		
小計	4,490	0	135	615	745	783	640	107	102	93	42	225	328	338	235	72	20	10	0
改造及び修繕工事	60	10	20	20	3	2	5												
合計	4,550	10	155	635	748	785	645	107	102	93	42	225	328	338	235	72	20	10	0

※ 鋼材搭載重量は,調査時点前6ヶ月間の実績及び調査時点後1年間の計画を記入すること

5. 従業員数 (平成30年9月末現在)

直接工の例  
溶接工、組立工、塗装工、  
管艙装工、機関艙装工等

間接工の例  
クレーン・工作機械のメンテナンス要員、  
清掃要員等

部 門		造船部門				造船部門 以外の 部門	合 計	
		直 接		間 接	小 計			
職 種		新 造	改造・修繕					
		工員	社内工	常用工	20	5	5	30
臨時工	5			3	2	10	0	
社外工	90		15	5	110	5		
小 計	115		23	12	150	15		
職員	事 務	8				3	11	
	技 術	15				4	19	
合 計							195	